

2013年12月5日

会員の皆様へ

日本料理アカデミー理事長
村田 吉弘

和食 無形文化遺産登録（御礼）

拝啓 師走の候、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、すでに報道のとおり、昨年アゼンバイジャン・バクーで開かれたユネスコ（国連教育科学文化機関）無形文化遺産の政府間委員会において、私どもの念願でありました「和食 日本人の伝統的な食文化」の登録が正式に決定されました。皆様にはこれまで多大なご協力を賜わり、大変ありがたく心より感謝し、厚く御礼を申し上げます。

今までの取り組みが実り、和食が普遍的な価値を持つ食文化として国際機関に認められたことは、この上ない喜びではありますが、今回の無形文化遺産登録が決してゴールではありません。世界に認められたこの食文化を普及、継承、発展させることは私たちの責務であり、これからが本当のスタートであると考えています。

いま、私たちの周りでは食生活の変化から和食離れが進んでいます。家庭での和食への回帰なども含めて、この登録を契機とし和食の素晴らしさを見直す機会となるよう、さらに積極的な活動を展開していきたいと存じております。

年末になり、皆様には大変お忙しい日々になると存じますが、今後とも日本料理アカデミーの運営へのご協力はもとより、世界無形文化遺産「和食」の継承者としてご尽力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬 具